

材料工学委員会、環境学委員会、総合工学委員会合同
サーキュラーエコノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会
(第26期・第5回) 議事要旨

1. 会議名 材料工学委員会、環境学委員会、総合工学委員会合同

サーキュラーエコノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会 (第26期・第5回)

2. 日 時 令和7年7月25日(金) 14:00～17:00

3. 会 場 東京大学本郷キャンパス 山上会館 001 室及びオンライン会議 (Zoom)

4. 出席者: 大塚 直、馬奈木 俊介、笹木 圭子、森口 祐一、森田 一樹、井上 純、岡部 徹、
岡本 秀征、齋藤 公児、柴田 悦郎、瀬川 浩代、中村 崇、林 幸、松岡 由貴、
松八重 一代、醍醐 市朗

欠席者: 安達 毅、沖部 奈緒子、所 千晴、野口 貴文、平尾 雅彦

5. 議題および決定事項

(1) 資源循環産業プロセスにおける LIBS の活用と発展の可能性について
(徳島大学 出口祥啓教授)

LIBS 分析の特徴と応用例に関するご講演が行われ、多数の質疑応答がなされた。

(2) 意思の表出「見解」の原稿の最終確認

笹木委員長より、申出書の提出と提出後の回答内容、作成の経緯、編集のポイントなどの説明がなされ、各執筆者からの意見や修正の要望がなされ、執筆者の氏名、所属の記載確認がなされた。7 月末日まで追加修正の要望を受け付け、最終案は委員長一任とし、9 月末までには提出の予定。

(3) 次年度開催予定の学術フォーラムまたは公開シンポジウムについて

笹木委員長より、「見解」提出後のフォローアップとして、次年度に学術フォーラムまたは公開シンポジウムの開催提案がなされた。登壇者の選定にあたり、意見交換がなされ、循環経済に深く関係した政府機関の方、産業界の方、境界領域をつなぐ分野において活発な研究活動をしている方などが提案された。

以上